

(25) 魚病監視調査

予算

運営費交付金

結果の概要

魚病の蔓延防止のため、種苗生産現場および養殖場等にて発生した魚病の診断ならびに指導を行った。種苗生産現場では、7月にキジハタ親魚においてハダムシ、エラムシの寄生が確認され、9月にはキジハタ種苗の斃死が見られたが原因は不明であった。また、8月にクロダイ種苗において滑走細菌症が見られた。養殖場等からは、6月にマアジ、8月にカンパチにおいてレンサ球菌症による斃死事例があった。健康診断ではキジハタの親魚および種苗について VNN の検査を行ったが、陽性個体は確認されなかった。

調査方法

1. 調査期間

2012年4月～2013年3月

2. 調査項目

1) 魚病診断

育成魚等の異常が報告された場合、すみやかに魚病診断を行った。

2) 健康診断

キジハタの VNN の検査を PCR 法により行った。

調査結果

表1、2のとおり。

担当者

辻村浩隆

表 1 魚病監視調査、魚病診断件数

魚種	病名	2012年												2013年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
キジハタ	ハダムシ症		1														1
	エラムシ症		1														1
	原因不明							1									1
クロダイ	滑走細菌症					1											1
カンパチ	レンサ球菌症					1											1
マアジ	レンサ球菌症			1													1

表 2 魚病監視調査、健康診断結果 (VNN)

魚種	検査	2012年												2013年			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
キジハタ	VNN					6/0	5/0			7/0							

検体数/陽性検体数